

## 2022 年度 事業報告

(2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで)

### 1. 食物アレルギーに関する研究開発支援事業

#### (1) 2021 年度公募型研究助成事業の完了

2021 年度に実施した食物アレルギーに関する予防、診断、治療、対応食品等の研究開発に関する研究助成事業（共同研究 5 件・3,000 万円、個人研究 16 件・3,140 万円、期間：2021 年 4 月～2022 年 3 月）を完了した。研究成果報告書を纏め、当財団 Web 上での掲載及び冊子で公開するとともに、研究成果報告会を開催した。

##### 《研究成果報告会》

開催日：2022 年 10 月 11 日

場 所：AP 品川アネックス(東京都港区)

開催形式：口頭報告会を実施し、リアルタイムでオンライン配信（共同研究報告会）  
Web 会議方式（個人研究報告会）

参加者数：約 80 名（現地出席とオンライン参加合計）

内 容：全課題の報告会を行った。共同研究はオンラインを併用したライブ配信形式で開催し、報告者、聴講者ともに所在地に関係なく参加し易いというメリットを再確認した。個人研究は完全オンライン形式で開催したが、報告者のご協力のもと、事前に報告動画（音声付き）をオンデマンド配信し、報告会当日は質疑応答会とした。興味がある課題を事前に視聴した上で質疑応答会に参加できることが特に好評であった。

#### (2) 2022 年度公募型研究助成事業の実施

食物アレルギーに関する科学技術の振興・促進を図り、当該分野の医療や食環境の改善に寄与することを目的とした研究助成事業において、2022 年度の助成先として採択された研究課題に対して以下の通り研究助成を実施した。

##### 《助成先等》

助成件数：21 件（共同研究 6 件、個人研究 15 件）

助成総額：6,138 万円（共同研究 3,249 万円、個人研究 2,889 万円）

助成先：別表 1 に記載

助成期間：2022 年 4 月～2023 年 3 月

特記事項：2023 年度中に研究成果報告書の作成と公開（財団 Web サイトへの掲載、冊子の作成、成果報告会の開催）を行う。

### (3) 2023 年度公募型研究助成事業の推進

2023 年度公募型研究助成事業を推進し、公募、審査、助成先の決定を行った。

#### ア 主要日程

- ・ 2023 年度研究助成募集要項の策定（2022 年 6 月）  
研究助成委員会で提言のあった審査方法等に関する改善内容も考慮し策定した。
- ・ 公募（2022 年 7 月 15 日～9 月 30 日）
- ・ 第 1 回研究助成審査委員会（2022 年 10 月 19 日）
- ・ 第 2 回研究助成審査委員会（2022 年 12 月 9 日）
- ・ 助成先の決定（理事会決議：2023 年 2 月 1 日）
- ・ 通知（2023 年 2 月）
- ・ 覚書締結（2023 年 3 月）

#### イ 助成先等

- ・ 受理総数：48 件（共同研究 17 件、個人研究 31 件）
- ・ 助成件数：20 件（共同研究 5 件、個人研究 15 件）
- ・ 助成総額：5,900 万円（共同研究 3,000 万円、個人研究 2,900 万円）
- ・ 助成先：別表 2 に記載
- ・ 助成期間：2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

### (4) 学会等を通じた学術振興支援及び情報発信

財団の事業に有益な研究や行政動向に関する情報収集とともに、財団のパブリックリレーション活動の一環として、以下の学会や展示会に参加し、講演、展示または広告掲載等を行った。

医学関係：日本小児臨床アレルギー学会、日本臨床栄養学会、日本小児アレルギー学会、食物アレルギー研究会

食品関係：ifiaJAPAN、日本食品化学学会、日本家政学会、日本栄養・食糧学会、日本食品科学工学会、日本栄養改善学会、日本農芸化学会

また、食物アレルギー研究会においては共催セミナーを実施した。

#### 《食物アレルギー研究会での共催セミナー》

実施日：2023 年 2 月 12 日（オンデマンド配信：2 月 17 日～3 月 5 日）

形式：ハイブリッド開催（オンデマンド配信）

共催：第 23 回食物アレルギー研究会

演題： $\omega$ -5 グリアジン欠損食用小麦の開発と普及に向けた取り組み

演 者：森田栄伸先生（島根大学名誉教授）

参加者：約 130 名（現地参加者）

会場参加者に講演の主題であるω-5 グリアジン欠損食用小麦（しまね夢こむぎ®）で作ったクッキーの試食品を配布し、研究成果の広報と普及に努めた。参加者からは研究開発のストーリーの確かさと具現化力への感動の声が多数届いた。

## 2. 食物アレルギーと向き合う人々の QOL 維持・向上を目指した啓発・支援活動

### (1) 「第 8 回食物アレルギー対応食 料理コンテスト」表彰事業の実施

食物アレルギーに向き合う方の健全で豊かな食生活に寄与するために、食物アレルギーに配慮した創作型料理（アレルギー除去食、代替食）を公募し、専門家で構成する審査委員会で優良作品を選考するコンテスト事業を継続実施した。当事業は、家庭等で工夫された料理技術の伝承、アレルギーに関する意識喚起、教育機会の創出等を目的としている。

これまでの「一般の部」と「学生の部」という部門区分を廃止し、「食事部門」と「おやつ・デザート部門」の 2 部門に分けて募集。なお、「卵、乳、小麦いずれも使用しない」という応募条件に変更はない。

#### ア 主要日程と受賞数等

- ・ 2022 年度募集要項の策定（2022 年 6 月）
- ・ 公募（2022 年 7 月 1 日～9 月 30 日）
- ・ 第 1 回審査委員会（2022 年 11 月 6 日）
- ・ 第 2 回審査委員会（2023 年 2 月 17 日）
- ・ 受賞作品の決定（理事会決議：2023 年 3 月 9 日）

・ 応募総数：704 件

・ 事務局による一次審査通過数：100 件（両部門合計）

・ 審査委員会（書類選考）による二次審査通過数：20 件（両部門合計）

・ 審査委員会（試食審査）による最終審査結果：

最優秀賞 各部門それぞれ 1 件

優秀賞 各部門それぞれ 1 件

審査委員特別賞 食事部門 3 件、おやつ・デザート部門 5 件

入賞 食事部門 3 件、おやつ・デザート部門 5 件

・ 後援：厚生労働省、消費者庁、農林水産省

・ 運営協力：女子栄養大学出版部

なお、審査委員特別賞では、それぞれのレシピが持つ特長を表彰状に明記した。

受賞作品名は別表3に記載

#### イ 受賞作品の情報公開及び表彰式の開催

##### 第8回コンテストの表彰式（2023年3月12日）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、来場者を受賞者及び財団関係者に制限し、ハイブリッド形式（会場とオンライン参加）で実施した。表彰式で受賞者の栄誉を称えることはもちろんのこと、コロナの影響で2019年度以降、実施できていなかった受賞者交流会を行い、参加者の想いが交わる意義深い会とすることができた。また、過年度の受賞作品を含むお弁当の提供も行い、受賞作品に込められた想いとレベルの高さを参加者で共有した。

受賞作品のレシピ、調理法（動画）のWeb上での公開、レシピ集の作成などは当初の予定通り2023年度に行い、成果物の普及活動に取り組む予定である。

#### ウ 優れた作品の再発見プランの遂行

試食会の開催が出来ず、過去3回の一次通過作品から優れた作品を再発見する計画は完遂に至らなかった。2023年度に再計画を行う。

### (2) 食物アレルギーセミナーの実施

#### ア 栄養士、食従事者向けセミナーの開催

栄養士や食従事者を主な対象として、食物アレルギーに関する診断・治療・栄養指導・事故予防等に関するセミナーをハイブリッド形式で行った。特別講演として、青森会場では、藤田医科大学総合アレルギーセンター 小児科教授の近藤康人先生に「ひやりはっと体験から学ぶ食物アレルギー発症予防と初期対応」を、和歌山会場では藤田医科大学客員教授の宇理須厚雄先生より「食物アレルギー 栄養士さんに知ってほしいこと」をお話いただいた。別府大学栄養科学部の高松伸枝教授には全会場にて「食物アレルギー栄養食事指導のポイント」を解説いただいた。最新情報を盛り込んだ講演は極めて好評であった。また、講演後の座談会（質疑応答）は、聴講者が日常現場で抱えている課題に関して、先生とともに解決するという趣旨で実施し有意義な会となった。なお、今年度も継続して、(公社)日本栄養士会の「生涯教育認定制度」の運用（受講者の単位取得）を実施した。

##### 《開催日程》

青森会場 : 2022年9月18日（外部講師：近藤 康人先生、高松伸枝先生）

和歌山会場 : 2023年3月5日（外部講師：宇理須厚雄先生、高松伸枝先生）

##### 《開催形式》

ハイブリッド形式

##### 《運営協力》

女子栄養大学出版部

2 会場での参加者数は 1,132 名であった。オンライン方式を取り入れることで、現地開催のみと比べ、一開催あたりより多くの聴講者に参加いただけることはもちろんのこと、現地開催は講師と聴講者のコミュニケーションが深まりやすいことを改めて感じる事ができた。

#### イ 保育者向けセミナーの開催

保育所や認定こども園等の保育士、栄養士を主な対象として、食物アレルギーに係る基礎知識及び対応方法に関するセミナーをハイブリッド形式で実施し、約 500 名にご参加いただいた。当財団設立以来、初の地元（つくば市）開催を記念し、会場参加者向けに「料理コンテスト受賞作品を含むお弁当」を提供した。また、つくば市を拠点に活躍されている専門医もお招きし講演いただいた。

基調講演として、同志社女子大学名誉教授の伊藤節子先生より「食物アレルギーの基礎知識と給食対応のポイント」を、講演 1 として地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 小児科 主任部長の亀田 誠先生から「保育所・こども園での食物アレルギー対応」を、講演 2 として筑波メディカルセンター病院 小児科 専門科長の林 大輔先生から「茨城県の保育現場の現状～幼稚園・こども園へのアンケート調査から」をお話いただいた。基礎知識からエピペン講習、さらには開催地の実情の紹介まで盛り込んだ講演は極めて好評であった。また、講演後の座談会（質疑応答）は、今現在職場で困っている内容の相談が相次ぎ、問題解決の場となった。

#### 《開催日程》

つくば会場：2022 年 11 月 27 日（外部講師：伊藤節子先生、亀田 誠先生、林 大輔先生）

#### 《後援》

つくば市

### (3) 団体活動支援助成の実施

全国の市民、民間団体等が行う食物アレルギーに係る問題解決を目指す諸活動（教育、調査研究、啓発物の作成等）を支援する目的で助成事業を行った。公募制により課題を募集し、理事会にて審査基準に基づき、公益性、実現可能性、社会への波及効果等を評価し、助成の可否決定を行った。なお、今年度は助成先のニーズに対応するため、助成期間を延長して公募した。

#### ア 主要日程と助成先

- ・公募 第一期：2022 年 4 月 1 日～4 月 22 日  
第二期：2022 年 7 月 29 日～9 月 2 日
- ・助成先の決定 第一期：2022 年 5 月 12 日、第二期：2022 年 9 月 29 日
- ・助成期間 第一期：2022 年 7 月 1 日～2023 年 3 月 31 日  
第二期：2022 年 11 月 1 日～2023 年 6 月 30 日

- ・助成件数：3件（第一期・2件、第二期・1件）
- ・助成総額：189万円
- ・助成先：別表4に記載

### 3. 地域社会、産業と連携した食物アレルギーの環境改善に向けた取り組み

#### (1) 事業成果物の普及活動の推進

##### ア 啓発物の普及

2015年度に制作し全国の小学校、公立図書館に寄贈した「食物アレルギー」を主題にした啓発本「食物アレルギーのひみつ」について、年間4回のプレゼントキャンペーンを継続すると共に、季節性イベントに合わせたキャンペーンを追加して実施した。また、小冊子については、主催セミナー、各種の講演会等にて配布した。

##### イ 料理コンテスト事業における入賞作品のレシピ等成果物の普及

###### (ア) 受賞レシピ及び料理動画

コンテスト受賞作品の社会での活用を目的に、レシピを普及する活動を推進した。第6回コンテスト受賞作品の料理動画を作成し、当財団のWebサイト上で無料公開を行った。公開した料理動画は、第1～7回コンテストを合計して142品となった。また、第7回コンテスト受賞作品のレシピ集を作成し、セミナー等で配布した。

###### (イ) 成果物の普及に関する企画

2021年度に当財団が保有するレシピの活用促進を目指してWebサイト上に実装した「レシピ検索機能」の改良を行った。

#### (2) 行政等のソーシャルセクターとの連携（厚生労働省等）

厚生労働省の補助事業として（一社）日本アレルギー学会が運営するアレルギー情報ポータルサイト（アレルギーポータル）に当財団の制作物や主催セミナー情報を継続的に掲載いただいている。また消費者庁との情報交換を継続的に実施した。

#### (3) 社会と連携した教育活動の支援、専門知識を有す食従事者養成を目的とする活動の支援

当財団の食物アレルギーセミナーが、（公社）日本栄養士会が主催する「食物アレルギー分野管理栄養士・栄養士認定制度」の資格更新単位認定セミナーとなっている。

大学、小学校や調理師養成校等の教育機関や大手消費者団体からの委嘱を受け、食物アレルギーに関する基礎知識、栄養指導等の最新情報、エピソードレーニング等の講義を実施した。

#### 4. 財団の認知度や理解向上のための取り組み

##### (1) Web サイトを活用した情報発信

財団の広報、情報公開における有用なツールであるため、コンテンツの充足、刷新に努めた。情報更新とともに、これまで積み重ねた情報の整理と改良を行い、視認性の向上を図った。

##### (2) 学会その他の展示ブースを活用した財団紹介

新聞等の媒体の活用、学会等での展示、各種講演等により財団の認知、知名度の向上を図った。事業の節目で、メッセージ性を判断して、9回のニュースリリースを実施。多数の記事掲載実績を得た。

#### 5. 財団運営

(1) 公益法人運営の基本原則（遵法、情報開示、ガバナンス）を重視した健全運営を継続すべく、機関決定及び業務執行を行った。

機関運営を別表 5 に記載

(2) 運営に万全を期すために、継続して外部ブレイン（税理士法人、司法書士、公益法人協会、助成財団センター、IT コーディネーター等）を活用した。

(3) 事業成果が社会に与えるインパクトや影響に関する評価とフォローアップを継続実施した。

(4) 寄附文化の醸成を目指した全国的な啓発活動に参加し、寄附金募集の広報を継続した。

以上

別表1 2022年度 公募型研究助成課題一覧

【共同研究助成（6件）】

|   | 氏名    | 所属機関                                | 課題名   |
|---|-------|-------------------------------------|---|
| 1 | 井上祐三朗 | 千葉大学大学院医学研究院<br>総合医科学 特任講師          | 唾液の次世代プロテオーム解析による、非侵襲的な食物蛋白誘発胃腸炎の診断・症状誘発予測マーカーの開発 |
| 2 | 今井 孝成 | 昭和大学医学部<br>小児科学講座 教授                | 食物アレルギー児におけるレジリエンス尺度の開発                           |
| 3 | 神沼 修  | 広島大学原爆放射線医科学<br>研究所 疾患モデル解析研究分野 教授  | 食品の味覚成分を利用した食物アレルギー制御法                            |
| 4 | 佐藤さくら | 国立病院機構相模原病院<br>臨床研究センター 食物アレルギー研究室長 | アレルゲンコンポーネントを活用した乳児期の食物アレルギー感作に関する研究              |
| 5 | 鈴木 亮  | 金沢大学 医薬保健研究域<br>薬学系 教授              | 新規アレルギー抑制分子 Ly6G によるマスト細胞の機能制御と創薬への応用             |
| 6 | 藤枝 重治 | 福井大学学術研究院医学研究科<br>耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授    | モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群における経口免疫療法の確立と機序解明         |

【個人研究助成(15件)】

|   | 氏名    | 所属機関                                | 課題名                                  |
|---|-------|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1 | 赤川 翔平 | 関西医科大学医学部小児科学講座 講師                  | 機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発 |
| 2 | 安藤 智暁 | 順天堂大学大学院医学研究科<br>アトピー疾患研究センター 助教    | 経皮感作による食物アレルギー発症の新規病態機序の解明           |
| 3 | 伊藤 尚弘 | 福井大学医学部附属病院<br>総合周産期母子総合医療センター 特命助教 | 食物アレルギーのアウトグロウにおける抗原特異的 IgD の役割      |
| 4 | 井上 雅己 | 神戸学院大学 薬学部<br>助教                    | 経口免疫寛容を強力に誘導する新規 Treg 標的バイオロジクスの創製   |



|    |       |                                    |  |
|----|-------|------------------------------------|--|
| 5  | 小谷 仁司 | 島根大学医学部医学科<br>免疫学講座 講師             | 食物アレルギー予防・治療を目指した核内受容体リガンドによる制御性T細胞分化制御解析              |
| 6  | 佐藤 陽  | 医療創生大学薬学部<br>衛生薬学部門 准教授            | D-アミノ酸含有ビオチニル化ペプチドによる持続的な抗アナフィラキシー効果の検証                |
| 7  | 清水 裕  | 北海道大学大学院水産科学研究<br>院 技術専門職員         | 発酵を利用した低アレルゲン化エビ調味料開発の試み                               |
| 8  | 中野 泰至 | 千葉大学医学部附属病院<br>小児科 助教              | 母乳中 micro RNA が食物アレルギー発症に及ぼす影響                         |
| 9  | 中村 公亮 | 国立医薬品食品衛生研究所<br>食品部第五室 室長          | 加工食品の輸出拡大を目指したコーデックス指定アレルゲンならびにアレルゲン様化学物質の網羅的検出法の基盤的検討 |
| 10 | 野村 孝泰 | 名古屋市立大学大学院医学研究科<br>新生児・小児医学 助教     | 胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明                        |
| 11 | 田中 孝之 | 京都大学大学院医学研究科<br>客員研究員              | 鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明                     |
| 12 | 深谷 知宏 | 宮崎大学医学部医学科<br>感染症学講座 免疫学分野<br>助教   | 経口免疫寛容における粘膜組織樹状細胞と腸内細菌叢との相互作用の役割の解明                   |
| 13 | 牧田 英士 | 自治医科大学附属病院さい<br>たま医療センター 小児科<br>助教 | 固形食物による消化管アレルギーの予後予測因子についての研究                          |
| 14 | 三浦 陽子 | 独立行政法人国立病院機構<br>相模原病院 小児科<br>レジデント | LGG 乳酸菌を併用して行う経口免疫療法の有効性を検証する研究                        |
| 15 | 横大路智治 | 広島大学大学院医系科学研究科<br>(薬) 准教授          | 低アレルゲン化小麦の交差反応を利用した安全性の高い小麦アレルギーの予防法と治療法の開発            |

※50 音順、敬称略、所属等は 2022 年 4 月時点

別表 2 2023 年度 公募型研究助成課題一覧

## 【共同研究助成 (5 件)】

|   | 氏名     | 所属機関                             | 課題名  |
|---|--------|----------------------------------|--|
| 1 | 安部 力   | 岐阜大学大学院医学系研究科 准教授                | 食物アレルギーに関わる神経-免疫系の機序解明と軽減手法確立への挑戦            |
| 2 | 北浦 次郎  | 順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター 先任准教授 | 可溶性 ST2 に着目した食物アレルギーの病態解明と予防・治療法開発           |
| 3 | 野村 伊知郎 | 国立成育医療研究センター研究所 好酸球性消化管疾患研究室 室長  | 好酸球性消化管疾患、慢性炎症の原因特定のための食物負荷試験標準化に関する研究       |
| 4 | 藤枝 重治  | 福井大学学術研究院医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授   | モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群におけるアレルゲン免疫治療の確立と機序解明 |
| 5 | 松本 健治  | 国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 部長 | 経胎盤感作の分子機構の解明 : ヒト胎盤由来絨毛細胞を用いた食物抗原の透過性の検討    |

## 【個人研究助成 (15 件)】

|   | 氏名    | 所属機関                 | 課題名   |
|---|-------|----------------------|---|
| 1 | 赤川 翔平 | 関西医科大学医学部小児科学講座 講師   | 小児鶏卵アレルギー患者における腸内細菌叢解析を用いた耐性獲得予測                        |
| 2 | 井原聡三郎 | 東京大学医学部附属病院 消化器内科 助教 | 樹状細胞の TGF- $\beta$ シグナルによる食物アレルギーの制御機構                  |
| 3 | 門脇 紗織 | 岐阜大学医学部附属病院 小児科 医員   | 食物アレルギー診断およびメカニズム解析を目的とした IgE 依存性即時型アレルギーに関する試験管内診断法の確立 |
| 4 | 川上 竜司 | 京都大学医生物学研究所 特定助教     | 食物アレルギーを予防する長期安定型 - 制御性 T 細胞の分化・維持メカニズム                 |
| 5 | 高里 良宏 | あいち小児保健医療総合センター 医長   | 新生児・乳児消化管アレルギーと腸内菌叢 (細菌+真菌) の関連                         |

|    |       |                                     |  |
|----|-------|-------------------------------------|--|
| 6  | 田中 孝之 | 京都大学大学院医学研究科 客員研究員                  | 鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明               |
| 7  | 内藤 宙大 | 名古屋学芸大学 助手                          | リン酸化ペプチドによるカゼインのエピトープ解析                          |
| 8  | 長竹 貴広 | 明治大学 専任准教授                          | オメガ3脂肪酸代謝物 17,18-エポキシエイコサテトラエン酸による食物アレルギー抑制機構の解明 |
| 9  | 野村 孝泰 | 名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学 講師         | 胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明                  |
| 10 | 牧田 英士 | 自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科 講師           | 固形食物による消化管アレルギーの診断と予後予測におけるバイオマーカーの研究            |
| 11 | 松岡 諒  | 国立成育医療研究センター研究所 免疫アレルギー・感染研究部 共同研究員 | 新生児・乳児早期に発症する消化管アレルギーの病態解明                       |
| 12 | 松田 将也 | 摂南大学 薬学部 特任助教                       | デザイナー細胞外小胞を用いた食物アレルギーの予防・治療法の創出                  |
| 13 | 山本 健  | 千葉大学医学部附属病院 小児科 助教                  | 小児牛乳アレルギー患者における重症化メカニズム解明とビタミンD併用による新規経口免疫療法の開発  |
| 14 | 横大路智治 | 広島大学大学院 医系科学研究科 (薬) 准教授             | $\omega$ 5-グリアジン欠失 1BS-18 小麦系統の生体内での低アレルギー性の検証   |
| 15 | 吉川倫太郎 | 島根大学医学部 助教                          | 間葉系幹細胞による食物アレルギー予防効果の検討                          |

※50 音順、敬称略、所属等は 2023 年 4 月時点

別表3 第8回食物アレルギー対応食 料理コンテスト 受賞作品一覧

【一般の部(8件)】

| 受賞名                          | 料理名                            | 氏名/ニックネーム/グループ名                                      | 勤務先                            | 都道府県 |
|------------------------------|--------------------------------|--|--------------------------------|------|
| 最優秀賞                         | おうちでベーカリー気分♪<br>ミニ惣菜パン         | 梶の母娘/<br>梶 恵美 さん<br>梶 みさき さん<br>梶 あかり さん<br>梶 ゆきの さん |                                | 北海道  |
| 優秀賞                          | 旨みのっかる進化系！<br>トマトすき焼き          | 増田 広美 さん   | 富士産業<br>(株)東京事業部               | 東京都  |
| 審査委員特別賞<br>(応援レシピ)           | 願いを米た愛情たっぷりカツ丼                 | 新井 香奈 さん   |                                | 埼玉県  |
| 審査委員特別賞<br>(創意工夫レシピ)         | モチプル！ほうれん草の和風スペツリ八丁味噌のラゲースソース  | 平野 晶 さん  |                                | 東京都  |
| 審査委員特別賞<br>(郷土料理をみんなで楽しむレシピ) | みんな一緒に！ホットプレートで<br>瓦そばパーティー    | 栢森 真希 さん   |                                | 大阪府  |
| 入賞                           | 天使の羽つき大根ギョウザ                   | 大友 映子さん  | (株)ニチダン                        | 大阪府  |
| 入賞                           | ぷりぷり食感！まるで本物！海老を使わない海老フライはイカが？ | はるちゃんさん  |                                | 鹿児島県 |
| 入賞                           | カリカリ湯葉のポテトサラダ春巻き               | 内藤 総司さん  | 大手前大学<br>健康栄養学部 管理栄養学科 基礎栄養学ゼミ | 大阪府  |

【おやつ・デザート部門 (12件)】

| 受賞名                            | 料理名                              | 氏名/ニックネーム/<br>グループ名   | 学校名                                 | 都道府<br>県 |
|--------------------------------|----------------------------------|---|-------------------------------------|----------|
| 最優秀賞                           | とろける！<br>あん（餡）しん生チョコ             | SA さん   |                                     | 鳥取県      |
| 優秀賞                            | まるでナッツ！きのこの<br>カリッとフロランタン        | 喜多野ゼミ/<br>米田 穂乃香 さん<br>喜多野 宣子 さん  | 大阪国際大学<br>人間科学部 人<br>間健康科学科         | 大阪府      |
| 審査委員特別賞<br>（おしゃれで映<br>えるレシピ）   | リッチなレアチーズ風<br>紅茶タルト              | Peach/<br>長井 ひなの さん<br>河合 梨々花 さん<br>森 友里朱 さん<br>永坂 弥希 さん                    | 名古屋学芸大学<br>管理栄養学部                   | 愛知県      |
| 審査委員特別賞<br>（洋中 Mix レシ<br>ピ）    | 米粉餃子皮と豆腐でつく<br>るイタリア菓子！          | 眞尾 緯蒨 さん  | 辻調理師専門学<br>校 高度調理技<br>術マネジメント<br>学科 | 大阪府      |
| 審査委員特別賞<br>（お手軽でかわ<br>いレシピ）    | 豆フルカッサータ                         | 栢森 真希 さん  |                                     | 大阪府      |
| 審査委員特別賞<br>（Good ネーミン<br>グレシピ） | ~大豆と小豆のマリアージ<br>ユ~しっとり餡タルト       | 石黒 理恵 さん  | 社会福祉法人あ<br>かね福祉会<br>ふたば保育園          | 千葉県      |
| 審査委員特別賞<br>（カルシウム Up<br>レシピ）   | 1 個食べても大満足！<br>保育園で人気のカレーマ<br>ン。 | 社会福祉法人あかね<br>福祉会/<br>中本 里香 さん<br>井上 愛 さん<br>藤澤 萌夏 さん<br>石黒 理恵 さん            | 社会福祉法人あ<br>かね福祉会                    | 千葉県      |
| 入賞                             | ココア風味のモンブラン<br>ケーキ               | White Mountain/<br>黒田 いつき さん<br>林 未空 さん<br>兼田 佳歩 さん<br>柴田 稀依 さん<br>後藤 真優 さん | 名古屋学芸大学<br>管理栄養学部                   | 愛知県      |

|    |                                 |          |                             |     |
|----|---------------------------------|----------|-----------------------------|-----|
| 入賞 | 最高峰 餡ブラン                        | 前田 和子 さん |                             | 愛媛県 |
| 入賞 | ハロウィンミニタルト                      | 中野 紫葵 さん | 香川県立高松南<br>高等学校             | 香川県 |
| 入賞 | 混ぜて溶かして冷やすだけ<br>とろ〜りココナッツミルクプリン | 近藤 祥代 さん | 金城学院大学<br>生活環境学部<br>食環境栄養学科 | 愛知県 |
| 入賞 | 抹茶ティラミスを食べながら、まっちゃんとしたひと時を。     | 藤澤 萌夏 さん | 社会福祉法人あかね福祉会 ふたば保育園         | 千葉県 |

※所属は2023年2月時点

別表4 2022年度 団体活動支援助成課題一覧

【第一期（2件）】

|   | 企画活動名                                  | 団体名                       | 代表者名   |
|---|--|---------------------------|--------|
| 1 | 食物アレルギーの最新知識と緊急時対応の研修会事業（学校・保育所・救急隊向け） | 特定非営利活動法人アレルギーを考える母の会     | 園部 まり子 |
| 2 | 第7回 ふくおか食物アレルギー攻略法講座（講演会）              | 特定非営利活動法人 福岡食物アレルギーネットワーク | 柴田 留美子 |

【第二期（1件）】

|   | 企画活動名  | 団体名                      | 代表者名 |
|---|--|--------------------------|------|
| 1 | ジェネラリストソーシャルワーク視点の当事者と地域を繋げるための場作り<br>「ファソラボオープンキャンパス☆食物アレルギーフェスタ」 | 特定非営利活動法人<br>FaSoLabo 京都 | 楠 隆  |

※企画活動名の50音順、敬称略

別表 5 2022 年度 機関運営

|   | 日付       | 会議名                    | 主な議題  |
|---|----------|------------------------|---|
| 1 | 5 月 12 日 | 第 1 回理事会               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度計算書類・事業報告の承認</li> <li>・ 定時評議員会の招集の決定</li> <li>・ 2022 年度第一期団体活動支援助成 助成先の決定</li> <li>・ 2022 年度事業進捗状況の報告</li> <li>・ 役員（理事・監事）候補について</li> <li>・ 評議員候補について</li> <li>・ その他</li> </ul>   |
| 2 | 6 月 1 日  | 定時評議員会                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2021 年度計算書類、事業報告の承認</li> <li>・ 役員（理事・監事）の選任</li> <li>・ 評議員の選任</li> <li>・ 常勤理事の定例報酬の額の決定</li> <li>・ 2022 年度事業計画及び収支予算書等の報告</li> </ul>   |
| 3 | 6 月 13 日 | 第 2 回理事会               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 代表理事（理事長・副理事長）の選定</li> <li>・ 業務執行理事（専務理事）の選定</li> </ul>  |
| 3 | 9 月 29 日 | 第 3 回理事会               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2022 年度第二期団体活動支援助成 助成先の決定</li> <li>・ 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告</li> <li>・ 2022 年度事業進捗状況の報告</li> <li>・ その他</li> </ul>   |
| 4 | 2 月 1 日  | 第 4 回理事会<br>(決議の省略による) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年度公募型研究助成事業における採択候補課題の決定について</li> </ul>   |
| 5 | 3 月 9 日  | 第 5 回理事会               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2023 年度事業計画について</li> <li>・ 2023 年度収支予算について</li> <li>・ 2023 年度資金調達及び設備投資の見込みについて</li> <li>・ 「第 8 回食物アレルギー対応食 料理コンテスト」受賞作品の決定について</li> <li>・ 規程類の改定について</li> <li>・ 役員賠償責任保険について</li> <li>・ 代表理事、業務執行理事の職務執行状況の報告</li> <li>・ 審査委員会からの答申内容について</li> <li>・ その他</li> </ul> |

付属明細書に記載する事項無し

以上